



当時、山口県に住む天体ファンの高校生だった長田健太郎さんによって発見された新星はくちょう座新星1975(V1500 Cyg)!! その発見から早50年が経ちます。発見の翌日、その明るさは最大で1.8等級にまでなりましたが、その後は段々暗くなっていき、6日後には5等級以下になってしまったそうです。それでもこのニュースは、“自分も新たな星の発見者になれるかも!”と多くの人々の関心を集めました。このトピック展では、その当時の記事が掲載されている新聞に加え『月間天文ガイド』1975年1975年11月号～1976年1月号、長田健太郎さんの功績をたたえ、日本天文学会・東亜天文学会から授与された表彰状、はくちょう座新星1975の極大前後のスペクトル変化の波形など貴重な資料も展示されています★

